

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 201001-1J

検索サイト	Google	実施日	2020/10/01	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア AND 水環境」で検索（「インドネシアの水環境」と表示される）					
URL： <a href="https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/62287">https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/62287</a>					
標題： 河川汚染が進むインドネシア、日本で有名なあの川も JB Press 2020. 9. 29（火）大塚 智彦					
<p>（要約）</p> <p>インドネシアで河川の汚染が深刻化している。汚れた川の象徴となってしまっているのが、インドネシア・ジャワ島中部をほぼ南北に流れる、ジャワ島最大の河川「ソロ川」である。</p> <p>汚染の主要な原因は、流域約 450 キロの沿岸に点在する各種工場からの汚染物質投棄と住民らによるゴミの投棄で、工場からの産廃投棄はその大半が無許可のものだと指摘されている。</p> <p>9 月 19 日、インドネシアの主要週刊誌『テンポ』は、「汚れた川、ソロ川」という記事を掲載した。『テンポ』は報道の中で、4 月から 10 月ごろにかけての乾期で水資源が枯渇しつつある中で、流域住民が生活水資源として利用するソロ川の水が茶色く濁り、悪臭を放ち、生活用水としての利用が難しくなっている現状を明らかにした。</p> <p>ジャワ島最長の河川であるソロ川は、ソロ地方にある水資源開発会社が採取した水を周辺の住民約 1 万 6000 人が生活用水として利用している。さらに流域の 21 市町村が、ソロ川を水資源としてなんらかの形で活用しているという。</p> <p>環境調査団体や流域の地方自治体などの調査によれば、ソロ川には毎年少なくとも 204 トンの生活ごみ、さらには 3200 トンの液体状の産業廃棄物が投棄され、水質を汚染し続けているという。背景として、インドネシアでは行政がゴミを回収する仕組みが十分に発達していないことがある。</p> <p>この結果、流域住民がソロ川の水に触れただけで肌が痒くなったり、水泡や炎症を発症したりするケースが報告されている。環境当局によると、河川の水質の安全性基準値の規制は 40 から 80 まだが「問題なし」とされるところ、現在のソロ川の水は「541」と基準値の 7 倍近くの数値を示しているという。日本人には想像を絶する汚染度である。</p> <p>もちろんソロ川の深刻な汚染に対して、なんとかしようという動きもある。2019 年 12 月、ソロ川が主に流れる中部ジャワ州のガンジャル・プラノウォ知事が、ソロ川流域に工場や事業所を構える企業、会社の代表を一堂に集めて「ソロ川環境問題協議会」を開催した。協議会ではソロ川の水質汚染の深刻化を受けて行政と民間で対応策を検討、「状況改善に向けた取り組みを 1 年間の期限を切って鋭意実施すること」になった</p> <p>こうした状況に対して『テンポ』は、インドネシア政府やジャカルタ州政府、あるいはソロ川が流れる中部ジャワ州や東ジャワ州の州政府による河川的环境保護政策はいずれも「不十分であり、このままではソロ川の深刻な状況がインドネシア中の河川に起きるのは間違いない」と指摘している。</p> <p>日本人としても、「ソロ川」が汚染、悪臭の象徴のようになっている事態は悲しい。日本にもかつて、工場からの排水などで汚染された川がいくつもあったが、環境意識の高まりや技術開発で水質改善を達成したケースは多い。そうした事例を参考にして、一刻も早く官民協力して取り組み、「清き流れ」のブンガワン・ソロを取り戻してほしい。</p>					
備考 JB Press は、Japan Business Press の略称。					